

青少年専門員だより

82号

令和8年2月24日



令和7年度 第3回 置賜地区青少年育成連絡協議会

2月18日（水）に、第3回置賜地区青少年育成連絡協議会定例会を開催しました。

会議では、はじめに令和7年度の活動実績および収支中間決算、ならびに「生徒と地域の大人の対話会（白鷹町）」のアンケート結果について報告を行いました。

続いて、令和8年度の諸事業の期日等に関する計画案、「生徒と地域の大人の対話会（基本方針）」、「社教振・青連協合同研修会（長井市）」等の提案、ならびに青連協事業に係る各市町の担当順の一部変更について、さらに令和8年度山形県青少年健全育成県民大会（置賜大会）に関する予備提案について協議を行い、いずれも原案どおり承認されました。

その後、各市町民会議および推進委員会の活動報告について情報交換を行い、地域ごとの実践や工夫について理解を深めました。

青少年を取り巻く環境が変化する中で、SNS依存、ネットいじめ、情報リテラシーの不足、孤立感など、デジタル環境や家庭・地域のつながりの希薄化に起因する課題が増加しています。こうした状況を踏まえ、地域の関係団体や大人が取り組むべき活動についても、時代に即した見直しや工夫が求められています。

今後とも、置賜地区における望ましい環境づくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



高校生の真っ直ぐな郷土への誇りと愛情は 青少年の健全な生き方の基盤となる

12月21日（日）、白鷹町中央公民館において「生徒と地域の大人の対話会」を開催しました。荒砥高校3年生の皆さんの探究学習の成果を基に、生徒と大人が「地域との関わり」「地域への関わり」等について対等な立場で意見を交流しました。

「関わり」とは、言い換えれば「生き方」です。生まれた時からそこに在り、在って当たり前のもの・ことに価値を見出し、守り・受け継ごうとする姿勢は、郷土への誇りと愛情の表われです。高校生のまっすぐな郷土への誇りと愛情は、誠実に生きようとする青少年の在り方の精神的支柱となります。

対話会を通じて、改めて青少年の地域参加・参画機会の確保とその継続性を高める仕組みづくりが重要であることを確認することができました。



春のあんしんネット・新学期一斉行動(2月～5月)

多くの青少年が初めてスマートフォン等を手にする春の卒業・進学・進級するこの時期に、インターネットの適切な利用に向けた啓発活動が全国的に展開されます。

【4つの重点】

- ① パレンタルコントロール（保護者による管理）についての理解・推進
- ② フィルタリングをはじめとする効果的な技術的手段の積極的な利用
- ③ 話し合いによる家庭内ルールづくりの促進
- ④ 青少年や保護者の安全・安心な利用に関する能力向上の促進



甘い誘惑にだまされないで！ それ「闇バイト」です

SNSやインターネットの掲示板には、仕事の内容を明らかにせず著しく高額な報酬の支払いを示唆するなどして犯罪の実行者を募集する投稿が掲載されています。簡単に高収入を得られるなら、と応募して、強盗や詐欺といった犯罪に加担することとなり、逮捕された人が多くいます。



政府広報オンライン



警察庁
文部科学省
こども家庭庁

「ゲーム仲間」という認識が、警戒心を低下させる

オンラインゲームは、友だちとつながったり、協力して遊んだりできる楽しい一方で、青少年が犯罪やトラブルに巻き込まれる危険性もあります。個人情報を出さない、怪しい誘いは断る、困ったら大人に相談することがとても大切です。

生成AIの性的加工は、許されない加害行為

生成AIは、便利な技術である一方、使い方を誤れば現実の人を深く傷つける凶器にもなります。技術を「禁止する」だけでなく、「責任感」「人権意識」「想像力」を育てることが、大人社会にも求められています。



警察庁
内閣府
こども家庭庁
文部科学省

毎月第3日曜日は「家庭の日」

2
月

「寒さに負けない心と体をつくる」

・食事や睡眠に気をくばり、適度な運動を行うことで、寒さや風邪に負けない体力づくりに心がけましょう。

3
月

「学期の節目を迎え、一年間の子どもの成長を祝う」

・卒園、卒業、進級を家族そろって祝いましょう。



上段が月別推進テーマ、下段が行動実践事例です。

家族そろって笑顔で過ごす時間をつくりましょう